



2026年2月5日

各 位

会社名 ヒラキ株式会社  
代表者名 代表取締役 梅木孝雄  
(コード:3059、東証スタンダード)  
問合せ先 取締役現業支援本部長  
姫尾房寿  
(TEL 078-967-4601)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年2月5日開催の取締役会において、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想数値について修正することを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 通期連結業績予想の修正について

2026年3月期通期連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	13,200	160	160	100	20円54銭
今回修正予想(B)	12,200	△250	△240	△310	△63円69銭
増減額(B-A)	△1,000	△410	△400	△410	—
増減率(%)	△7.6	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	12,960	△3	△0	△771	△158円59銭

#### 2. 修正の理由

通期連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間における実績および第4四半期予想を考慮し、上記の通り修正いたします。

売上高につきましては、店舗販売事業が概ね堅調に推移し当初計画比横ばいと予想する一方、通信販売事業については、第2四半期累計期間において計画未達以降、第3四半期については、販売促進商品および秋冬季節商品の販売が伸び悩み計画を下回る結果となりました。第4四半期については、訴求力ある商品の販売および多様な販売促進策を講じますが、第3四半期累計期間の計画未達分をカバーするには至らないと予想し、全社の売上高は当初予想を下回る見通しであります。

利益面につきましては、役員報酬の減額、テレビCMの中止等の経費削減に取り組みましたが利益率の高い通信販売事業の売上高が計画を下回る予想であることより利益の回復が難しいと判断し、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表の予想を下回る見通しであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上